

## ADB、中国都市廃棄物発電の クリーンテクノロジーを支援

【マニラ、2009年9月7日】アジア開発銀行(ADB)は、中国都市部における廃棄物発電開発プロジェクトに対し総額2億ドルを上限とする融資の契約書を[中国光大国際有限公司\(China Everbright International Limited\)](#)と調印した。本融資は、ADBにとって初の民間セクター向け都市廃棄物発電プロジェクトとなる。

中国では都市廃棄物処理は深刻な環境問題である。中国は世界最大の都市廃棄物排出国で、年間約1億4800万トンを排出し、年8~10%のスピードで増加している。うち約半分は処理されないまま空地に廃棄されているため、都市貧困層、特に付近住民は深刻な大気・水質汚染、感染症被害の危険性にさらされている。

「クリーンテクノロジーを用いた廃棄物発電は、最も効率の良い廃棄物の処理方法です。廃棄物量を10分の1に減少、メタンガス排出量の削減、さらに処理の過程で生じるエネルギーに化石燃料から代替することができます」(ADB民間部門業務局(PSOD)の木村<sup>ひさか</sup>寿香インベストメント・スペシャリスト)。

中国政府は、都市ゴミの廃棄物発電を用いた処理率(2002年は1%)を2030年までに30%に引き上げるとの長期目標を設定している。「この高い目標を達成するには、地方自治体は、民間企業の持つ資金、高い技術力、運営ノウハウが必要です。本件の官民パートナーシップ(PPP)プロジェクトがモデルケースとなり、将来さらに多くの民間企業が廃棄物処理市場へ参入することを期待します」(ADB民間部門業務局(PSOD)副局長、[山縣丞](#)・次長)。

中国光大国際有限公司(China Everbright International Limited)(本社:香港)は、中国における環境保護をビジネスとしたフロントランナーで、廃棄物発電市場に先駆けて参入した民間企業。廃棄物処理過程で石炭を使わないクリーンテクノロジーを用いた発電施設の建設運転をADBは支援する。

ADBからの融資は、同社に直接融資されるAローン1億ドルと、民間金融機関とのシンジケーションであるBローン1億ドルからなる(返済期間は猶予期間3年を含め最大10年)。さらに、プロジェクトの評価とその経験を、中国およびアジア太平洋諸国に共有するために、65万3000ドルを上限とする技術協力もADBから提供される。

---

### お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報官: 望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADBのニュースリリース(和文)は、下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>